

# 国民健康保険税 納付スタート

## ● 7月から国民健康保険税の納付が始まります

国民健康保険(国保)は、相互扶助という考えによって成り立っている医療保険制度です。加入世帯の被保険者数や収入などに応じた保険税を負担することにより、万が一、被保険者が病気がけがをしたときには、少ない自己負担で医療サービスを受けるようになっています。

今年度も国民健康保険税の納付が7月より始まります。国保税の納税義務者は国保に加入している世帯の世帯主であり、年金から保険税が天引きとなる世帯(特別徴収)を除き、毎年7月から翌年の2月までの毎月8期にわたり納付となります。

**保険税は期限内納付をよろしくお願いいたします。**

### 国民健康保険税の納期限表

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
令和5年 7月31日	令和5年 8月31日	令和5年 10月2日	令和5年 10月31日	令和5年 11月30日	令和6年 1月4日	令和6年 1月31日	令和6年 2月29日

#### □ 口座振替

口座振替日：各納付月の25日(25日が休日・祝日の場合は翌営業日)

口座振替希望の方は、役場窓口または、各金融機関窓口で申請して下さい。

#### □ 国民健康保険税の納税通知書が届かない方は町に連絡を

国保加入世帯には、7月上旬に郵送する予定ですが、表札、部屋番号が不明などの理由により、配達できず返送されてくる場合があります。7月20日を過ぎても保険税の納税通知書が届かない方は町に連絡してください。

#### □ 所得申告

保険税所得割額の算出や低所得者への保険税の軽減、高額療養費の判定の基礎とするため、所得の有無に関わらず、毎年必ず所得の申告を行う必要があります。まだ、所得申告が済んでいない方は、早急に所得申告をするようお願いいたします。

## ● 国民健康保険税の賦課限度額と保険税軽減範囲が変わります。

□ **賦課限度額の変更** 国民健康保険税の賦課限度額に関しては、令和4年度から変更がありました。詳細は、下記のとおりとなります。

	医療分	介護分	支援分	合計
令和3年度	650,000円	170,000円	190,000円	990,000円
令和4年度	650,000円	170,000円	220,000円	1,040,000円

#### □ 低所得者への均等割・平等割の軽減

低所得者の国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大するため、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引上げを行いません。

	5割軽減世帯	2割軽減世帯
令和3年度	基準額43万円+28.5万円×被保険者数	基準額43万円+52万円×被保険者
令和4年度	基準額43万円+29万円×被保険者数	基準額43万円+53.5万円×被保険者

## 国民年金保険料は納期限までに納めましょう!

令和5年度の国民年金保険料	月額
令和5年4月分~令和6年3月分	16,520円



保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関、郵便局、コンビニで納めることができます。また、納付書以外にも便利なクレジットカード納付、口座振替、ネット等を利用した納付があります。

未納のまま放置されると、強制徴収の手続によって督促を行い、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課されるだけでなく、納付義務のある方の財産を差押えることがありますので、早めの納付をお願いします。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、免除、猶予の制度がありますので、役場窓口へご相談ください。

※納付義務のある方→被保険者本人及び連帯して納付する義務を負う配偶者、世帯主になります。

## 国民年金保険料免除等の申請について

### 令和5年度の免除等の受付は令和5年7月1日から開始します!

保険料が納め忘れの状態、万一、障害や死亡といった不慮の事故が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

経済的な理由などで年金保険料を納付することが困難な場合は、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、役場窓口で手続きをしてください。

令和5年度の免除等の受付は令和5年7月1日から開始され日本年金機構が審査を行います。

また、過去期間については、免除等の申請書を提出した日から2年1か月前までの分になります。

失業等により年金保険料を納付することが経済的に困難になっているが、申請せずに未納の期間がある方は一度、役場の年金担当または年金事務所へご相談ください。

お問合せ先：浦添年金事務所

☎098-877-0343

久米島町役場福祉課

☎098-985-7124